

氏 名 和田 穰 隆



所 属 ・ 職 名 理科教育講座（生命・地球科学）・助教授

研究室電話番号 0742-27-9200（ダイヤルイン）
0742-27-9289（FAX）

電子メールアドレス ywada@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了（1992）
博士（理学）（神戸大学 1992）

所 属 学 会 等 日本火山学会，American Geophysical Union（AGU），
International Association of Volcanology and Chemistry of the Earth's
Interior（IAVCEI）

専 門 分 野 地質学（特に火山地質）

研究と教育について

紀伊半島中央部をフィールドとして、野外地質調査と室内試料解析による火山活動の解明をテーマにしています。最近はずっと火砕岩岩脈（マグマの地表への通路とその産物）を相手に、台高～大峯山地域を調査しているのですが、この地域では火山学的な調査がこれまでほとんどなされていません。この研究によって紀伊半島地域における今から約 1400 万年前に起こった大規模な火成活動の様子を解明できると考えています。

研究と同様、勉強は自分の興味がないと続けられません。まず自分の興味がどこにあるのかを知ることが大切でしょう。常々そう考えているので、日々の講義・実験・実習では学生各自の興味を引き出せるような内容を伝えられるように努めています。一方で、研究室へ入る学生にはフィールドへ出る魅力と地質学の面白さを伝えられればと考えています。

主 な 研 究 業 績

- ・和田穰隆・丸目紘輔・新正裕尚(2004) 奈良県川上村中奥に分布する火砕岩(tuffite)岩脈から見出された苦鉄質～中間質の本質岩片とその意義. 奈良教育大学附属自然環境教育センター紀要, 6, 7-18.
- ・新正裕尚・和田穰隆・折橋裕二・角井朝昭・中井俊一(2003) 岩脈包有物のジルコン U-Pb 年代から推定される奈良県吉野地域の中央構造線南方に伏在する中新世花こう岩質岩体. 地質学雑誌, 109, 689-696.
- ・Otofuji, Y.-i., Takemoto, K., Zaman, H., Nishimitsu, Y., and Wada, Y. (2003) Cenozoic remagnetization of the Paleozoic rocks in the Kitakami massif of Northeast Japan, and its tectonic implications. Earth Planet. Sci. Lett., 210, 203-217.
- ・和田穰隆・青木真知子(2002) 和歌山県三越峠付近の火砕岩岩脈の形成過程. 奈良教育大学紀要, 51, 25-35.
- ・和田穰隆・糸田千鶴(2002) 紀伊半島中央部, 奈良県川上村に分布する火砕岩(tuffite)岩脈の岩片・マトリックスの古地磁気学的研究. 奈良教育大学自然環境教育センター紀要, 5, 1-10.

主な授業担当科目

学 部：地球環境科学，地学巡検（総合教育課程），地質学，地質学実験Ⅰ
大学院：地域地球科学

学 会 活 動 日本地質学会火山部会教育普及委員

社 会 的 活 動 随時地質・岩石に関する一般の方からの質問に答えています。

講 演 の テ ー マ 最近では以下のような事業・プログラムの講師をしました。

- ・平成 14 年度学社融合推進事業「自然ふれあい体験インはやま」講師（分担担当）（奈良教育大学・奈良県立青少年野外活動センター主催）
- ・平成 15 年奈良県高等学校理化学会・奈良県地学教育研究会主催「夏期地質巡検（奈良県川上村中奥方面）」講師
- ・平成 16・17 年度サイエンス・パートナーシップ・プログラム（教員研修）「『なら自然まるかじり』研修会」講師（分担担当）（奈良県立教育研究所主催）